

JAS 3079に規定された接着剤の評価基準(幅はぎ・積層用)

項目	試験		密度	試験体採取			評価基準			
	名称	参考規格	樹種	試験体形状	試験片形状	個数	評価項目	参考基準	基準値	
									使用環境B	使用環境C
接着強さ	常態圧縮せん断試験	JAS 3079	中密度材 (標準カラマツ) 低密度材 (標準スギ)	3層3プライ以上又は3層4プライ以上  幅300mm以下×長さ300mm以上 10体	JASブロックせん断 (面積25~55×25~55mm)	各接着層から2個ずつ	せん断強さ 木破率	JAS 3079	密度ごとに、せん断強さ及び木破率の基準値ともに適合する試験片数が、全試験片数の90%以上であるときは合格とする 平行接着層及び幅はぎ接着層にあっては、 ・中密度材：強さ7.2N/mm <sup>2</sup> かつ木破率65%以上 ・低密度材：強さ5.4N/mm <sup>2</sup> かつ木破率70%以上 直交接着層にあっては、 ・中密度材：木破率65%以上 ・低密度材：木破率70%以上	
耐水性	煮沸剥離試験(2回)	JAS 3079	中密度材 (標準カラマツ) 低密度材 (標準スギ)	[ラミナ寸法：厚(12mm以上50mm以下)×幅300mm以下 1層のラミナの枚数：2枚以上]	厚さをそのままとした1辺の長さが75mmの正方形状のもの	試験体10体から1個ずつ	剥離率	JAS 3079	密度ごとに、以下の剥離率及び剥離長さの基準値とともに適合する試験片数が、全試験片数の90%以上であるときは合格とする ア 剥離評価平行接着層、直交接着層並びに幅はぎ接着層の全ての接着層の剥離率が10%以下 イ 剥離評価平行接着層の剥離の長さの合計がそれぞれの接着層の長さの25%以下 ウ 直交接着層の剥離の長さの合計がそれぞれの接着層の長さの40%以下 エ 幅はぎ接着層の剥離の長さの合計がそれぞれの接着層の長さの25%以下	
	減圧加圧剥離試験(2回)	JAS 3079								
耐クリープ性	クリープ試験	ASTM D2559-12	高密度材 (標準マカバ)	多層接着層試験体 47.7×50.8×276.2mm		2つの条件について2体ずつ	変形量	CSA Standard O112.9-10 § 4.10.1	断面ごとの平均変形量が0.25mm以下。かつ、全断面の平均変形量が0.05mm以下。かつ、試験体4体全てが破壊しないこと。	
		EN 15416-2:2007		多層接着層試験体 48×50.8×133.6mm		3条件を順に6体		prEN 15425 EN 301 EN 16254	全断面の平均変形量が0.05mm以下。かつ、試験体6体中、5体が破壊しないこと。	
耐熱性	加熱圧縮せん断試験(100℃)	JIS K6831	高密度材 (標準マカバ)	ひき板同士を繊維方向に平行に接着したもの(2プライ)3体	ブロックせん断	試験体3体から4個ずつ	所定温度におけるせん断強度残存率(木破率)	API耐火性能検討委員会平成16年度報告	100℃のせん断強さが、常温時のせん断強さに0.45を乗じた数値以上。かつ、90%以上の試験体が7.2N/mm <sup>2</sup> 以上	100℃のせん断強さが、常温時のせん断強さに0.45を乗じた数値以上。
耐火性	小型パネル耐火試験	JIS A 1304	低密度材 (標準スギ)	基本寸法：厚さ150mm×幅1,000mm以上×長さ1,000mm以上 構成：Mx60-5-5(ラミナ外層M60B、内層M30B) Mx60-7-7(ラミナ外層M60B、内層M30B) ラミナ厚さ：Mx60-5-5の場合、30(+0,-2)mm Mx60-7-7の場合、21(+0,-2)mm		2体ずつ計4体	試験体内部温度	国交省告示	加熱面から深さ60mmの異常値を除いた5点以上の箇所の各部分の温度が試験開始を起点として、240℃上昇しないこと。	

JAS 3079に規定された接着剤の評価基準(長さ方向の接着用)

項目	試験		密度	試験体採取			評価基準			
	名称	参考規格	樹種	試験体形状	試験片形状	個数	評価項目	参考基準	基準値	
									使用環境B	使用環境C
耐水性	煮沸剥離試験(2回)	2×4製材及びFJ材のJAS規格	中密度材(標準カラマツ) 低密度材(標準スギ)	中央部にジョイント部を含む 厚さ(12mm以上50mm以下)×幅300mm以下(ただし、厚さの1.75倍以上であること)×長さ200mmのもの10体	ジョイント中央部で切断(フィンガーの長さ16mm以下のものにあつては、ジョイント部を横切りしたもの)	20個(フィンガーの長さが16mm以下の場合は10個)	剥離率	-	試験片毎の剥離率が15%以下であり、かつ、採取した全試験片の平均剥離率が10%以下 かつ、密度ごとに、剥離率の基準値に適合する試験片数、全試験片数の90%以上であるときは合格とする	
	減圧加圧剥離試験(2回)	2×4製材及びFJ材のJAS規格								
耐熱性	加熱圧縮せん断試験(100℃)	JIS K6831	高密度材(標準マカバ)	ひき板同士を繊維方向に平行に接着したもの(2プライ)3体	ブロックせん断	試験体3体から4個ずつ	所定温度におけるせん断強度残存率(木破率)	API耐火性能検討委員会平成16年度報告	100℃のせん断強さが、常温時のせん断強さに0.45を乗じた数値以上。かつ、90%以上の試験体が7.2N/mm <sup>2</sup> 以上	100℃のせん断強さが、常温時のせん断強さに0.45を乗じた数値以上。
耐火性	小型パネル耐火試験	JIS A 1304	低密度材(標準スギ)	基本寸法:厚さ150mm×幅1,000mm以上×長さ1,000mm以上 構成:Mx60-5-5(ラミナ外層M60B、内層M30B) Mx60-7-7(ラミナ外層M60B、内層M30B) ラミナ厚さ:Mx60-5-5の場合、30(+0,-2)mm Mx60-7-7の場合、21(+0,-2)mm		2体ずつ計4体	試験体内部温度	国交省告示	加熱面から深さ60mmの異常値を除いた5点以上の箇所の各部分の温度が試験開始を起点として、240℃上昇しないこと。	